

事故報告書

作成日	2025年7月18日	発生日	2025年7月18日 8時17分
作成者	〇〇部 山田太郎	発生場所	国道●号線 ●●区交差点

概要

当社営業車（トヨタプロボックス、社有番号BP-104）が右折待機中に自転車（通勤中の一般男性）が左側ドアミラーに接触し、自転車操作者が軽傷（右ひじ擦過傷）を負った。車両損傷はドアミラー樹脂カバー割損（部品代5,800円）。第三者・構造物への被害は確認されていない。

詳細

08時14分、運転者Aは板橋営業所を出発し得意先H社へ向行。08時17分、仲宿交差点で赤信号停止後に右折矢印点灯を確認、発進直前に左側の死角から進入した自転車のハンドルがドアミラーに接触した。接触直後に運転者Aはハザードを点灯して停止し、負傷者の安全を確保。08時19分に110番通報し警察の現場検証を受けた。08時41分、上司Bへ電話報告。09時05分、負傷者は自ら近隣整形外科を受診し軽傷診断（全治3日）を取得。

原因と影響

直接原因は運転者Aの発進時の左側直前確認不足。間接原因として交差点ガードレールの街路樹剪定未実施により自転車の接近が視認しづらかった点が挙げられる。事故による直接費用は車両修理見積5,800円と労災外補償見込12,000円。営業稼働は車両入庫のため半日停止し、当日の訪問予定3件を翌営業日に変更した。

応急対応・再発防止策

応急対応として08時30分に三角停止板と発煙筒を設置し二次事故を防止、10時15分に代替車両を手配し営業業務を再開。恒久対策として①8月末までに全営業車へ広角補助ミラーを増設、②東京都土木事務所へ街路樹剪定依頼書（文書番号BP-2025-18）を提出、③運転者全員を対象に左直死角確認手順の動画学習を8月10日までに完了させる。